



令和元年7月15日 第823号

一般財団法人日本遺族会 東京都千代田区九段南一丁目六番一七号 千代田会館三階 電話 03-3261-5521 00160-6-25389 郵便番号 115-8511 発行 毎月1日 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰霊救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

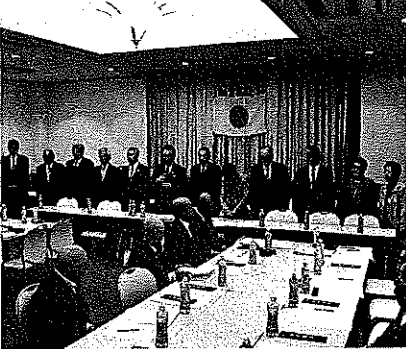
会 任 期 満 了 で 役 員 改 選 評 議 事 新 役 員 が 全 会 一 致 で 決 定

日本遺族会は六月十日、第十回評議員会、第十八回評議員会を東京千代田区の靖国会館で開催した。第十回評議員会では、評議員の一部改選、理事の選任、平成三十年度計算書類等が諮られ、何れも承認された。第十八回評議員会では、任期満了に伴う役員改選が行われ会長、副会長等新役員が全会一致で決定した。

第十回評議員会は午後一時に始まり、水落敏栄(本会会長・参議院議員)の挨拶の後、議長に静岡県の大石功氏が選出され、議長に就任された。はじめに評議員の一部改選、理事の選任が諮られ、何れも承認された。その後、平成三十年度計算書類等について諮られ承認された。また、英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに運動方針、令和一年度政府予算し、全会一致で決定した。



第10回評議員会で挨拶に立つ水落敏栄本会会長 = 6月10日、靖国会館で



第18回理事会で新役員が決定し、代表して挨拶する水落会長 = 6月10日、靖国会館で

専務理事 畔上 和男
常務理事 永徳庄郎
野野山 山田 國政
昭 山下 裕子、須賀宏江
監事 田原政信、池田征司
会長 水落 敏栄
副会長 宇田川 敏雄
同 市來健之助
各賞顧問 古賀 誠
尾辻 秀久
顧問 森田 次夫

代議員会、理事会を開催
政治連盟
日本遺族政治連盟は、六月十日東京・靖国会館で代議員会及び理事会を開催した。
代議員会では、平成三十年度の事業実施や第十九回統一地方選挙結果、第二十五回参議院議員通常選挙・選挙区選出候補者の本連盟第 次推薦について報告後、平成三十年度の決算、令和元年度予算の第一次補正、第二十五回参議院議員通常選挙・比例区候補の支援体制について審議し、それ

拡大一心会の活動開始 遺児の国会議員で組織

昭和五十八年、国会の場で、戦没者遺族の声を反映しようと戦没者の遺児の国会議員でつくった「一心会」は、去る六月五日、次世代へ活動をつなげるため、戦没者の孫の衆参両院議員五人を新たに加入、拡大一心会として活動を開始した。

拡大一心会の議員の方々は次の通り。秋篠裕子、野村晋郎、水落敏栄の名譽院議員、新役員「(衆議院)新藤 賢也(宮城県)、御法川 信英(秋田県)」「(参議院)松村祥史(熊本県)、渡辺 猛之(岐阜県)」



靖国神社の夏の風物詩 7.13~7.16 みたままつり

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。
年間購読料/1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)
お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

声なき声
令和元年6月29日、靖国神社が創建されてから150年を迎えた。この記念すべき年を迎えるにあたり靖国神社は3年前から「靖国神社御創立百五十年記念事業」を計画し、本殿や外苑の改修工事を進めている。この事業で特筆すべきは、参拝者を本殿に導く「いざない」プロジェクトの「さくら陶板」である。桜は英霊の象徴でもあり、その桜を47都道府県の代表的な陶工が御英霊に縁のある故郷の土を用いて、桜をモチーフとした陶板を制作し、記念碑として完成させている。冬真っ只中の1月、沖縄県に寒緋桜が開花して春を告げ、桜前線は日本列島を北上する。そして5月中旬、北海道稚内にて蝦夷山桜が咲き誇る。御英霊も靖国神社でさくら陶板に故郷の思いを感じ、五弁の花びらで地元の花を思い出し、花見を楽しんでいたただけのことだろう。

本会事務局で 人事異動
本会事務局では、六月十日付で人事異動を発令した。(敬称略)
▼事務局長 盛川英治

西都ニューギニア地域での遺骨収集事業が再開されることが決まった。西都ニューギニアは約5万3千人が戦没され、これまで3万3千430柱のご遺骨が日本に帰った。しかし、インドネシア政府との覚書の期間が終了したことから収集事業が停止していた。今回、安倍総理大臣をはじめ、関係者の方々の外交努力に感謝申し上げたい。(M)

旅が、未来のわたしをつくる。

www.tobutoptours.co.jp

東武トップツアーズ

TOBU TOP TOURS
東京法人東事業部 第2営業部 担当: 櫻井・高橋
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-10-5
住友生命茅場町ビル2階
TEL.03-6667-0592 FAX.03-6667-0564

慰霊大行進を実施

6月23日の「慰霊の日」

戦74年 戦終

二十三万余の住民が地上戦に巻き込まれ、尊い命が失われた沖縄県は六月二十三日、七十四年目の慰霊の日を迎えた。三十年振りに雨が降る中県内各地では、戦没者の冥福を祈る慰霊行事が執り行われた。日本遺族会は沖縄県遺族連合会と共催で第五十八回平和祈願慰霊大行進を実施し、世界の恒久平和を祈願し、摩文仁へと行進した。



雨の降りしき中、恒久平和を願う最後の激戦地となった摩文仁を目指す大行進団=6月23日、糸満市で

午前八時三十分、雨が降る中、本会から参加者約七千人が、水落敬栄会長(参議院議員)が挨拶した。次いで戦没者代表による平和祈願大会が閉会された。午前九時、水落会長、折原大会が挨拶した。開会のことばに続き、折原の犠牲者に対する謝辞が述べられた。宮城篤正副会長は、最後の激戦地となった糸満市摩文仁を目標として、恒久平和を願う最後の激戦地となった摩文仁を目指す大行進団=6月23日、糸満市で

日本遺族会への寄付金のお願い
日本遺族会では、戦没者の遺骨調査や遺族支援、慰霊及び好戦事業、遺骨収集調査等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒、賛助の心をもち、お預けください。ご寄付のお願いです。

●口座振替
口座番号：一般財団法人日本遺族会(一)二五〇三〇〇
●振込先
銀行名：三井銀行 九段支店
口座番号：0000000000000000

指し、時折激しい雨の降る悪天候の中出発した。参加者たちは、砲撃降りしき中歩き続けた戦没者が辿った道程を一步一歩踏みしめながら、犠牲者の冥福を祈り、世界の恒久平和を願う。八時三十分、平和記念公園に到着。沖縄県戦没者追悼式会場に入場すると、式参列者から大きな拍手で迎えられる。全戦没者追悼式には、安倍晋三内閣総理大臣や衆参両院議長のほか外務防衛、厚生労働、沖縄担当の閣僚が出席し、県内外の遺族ら約五千五百人が参列して、正午の時報に合わせ黙祷を捧げた。追悼式では各代表が献花し、宮城会長が追悼のことばを述べた。

追悼のことば

本日、ここに沖縄県主催による「令和元年沖縄戦戦没者追悼式」が執り行われるにあたり、戦没者追悼代表として、私達は、互いに扶けあい、励ましあひながら懸命に生き抜いて参りました。皆様方が最後まで奮闘された我が国は、焦土の中から国民が一体となって立ち上がり、幾多の困難を乗り越えて、今日の平和と繁栄を築きあげました。この平和と繁栄は、皆様方の尊い犠牲の上に築かれたものであります。私達日本人は、決して忘れてはなりません。私達戦没者遺族は、英霊の御魂を慰め、戦没者の冥福を祈り、平和と繁栄を築くために、県内各地、全国から遺族の代表が参集し、南部の激戦地を巡る「慰霊の日」大行進を実施し、世界の恒久平和を祈願し、第一十八回平和祈

とは(別掲)を述べ、沖縄県の小学生が「平和の詩」を朗読するなど、会場は平和を願う祈りに包まれた。午後二時、国立戦没者墓苑で本会主催の拝礼式が挙行され、慰霊碑に献花をした後、摩文仁の丘、米須墓域に建立されている各都道府県の慰霊塔を参拝した。夜には、平和祈願慰霊大行進の本会参加者と沖縄県遺族連合会代表とが懇談会を開催した。参加者は意見を交換し、交流を深めた。

おひ、本年度は六月から派遣が始まり三回実施され、本会からも各派遣団一人が参加協力した。ソロンモ諸島、ソロンモ諸島現地調査第二次派遣は、五月十八日から六月二日の期間で実施され、ガダルカナル島の丸山道を調査した。派遣団は二つの班に分かれ、一班はタンブ、タソポ、ハシ、ホート、ス周辺二班はモカ、タレイ、周辺の第二師団転進経路(丸山道)を徒歩で踏査し、現地住民の協力を得て、埋葬場所等を試掘することともに試掘箇所、マーキング及びGPS測位の面的調査を行った。パラオ諸島、ヘリコプター

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会(推進協会)が実施している、硫黄島における掘削調査及び海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、硫黄島、ソロンモ諸島、パラオ諸島、東部ニューギニアの各地域の派遣に

推進協会は、防衛省が実施した地中探査データにより反応があった箇所を重点的に掘削調査の文書業務を行って

沖縄県遺族連合会 会長 宮城篤正

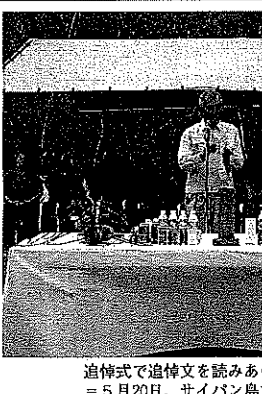
願ひは、私達戦没者遺族が歩んだ道程は、長く苦しい道程でありました。しかし、私達は、互いに扶けあい、励ましあひながら懸命に生き抜いて参りました。皆様方が最後まで奮闘された我が国は、焦土の中から国民が一体となって立ち上がり、幾多の困難を乗り越えて、今日の平和と繁栄を築きあげました。この平和と繁栄は、皆様方の尊い犠牲の上に築かれたものであります。私達日本人は、決して忘れてはなりません。私達戦没者遺族は、英霊の御魂を慰め、戦没者の冥福を祈り、平和と繁栄を築くために、県内各地、全国から遺族の代表が参集し、南部の激戦地を巡る「慰霊の日」大行進を実施し、世界の恒久平和を祈願し、第一十八回平和祈

パラオ諸島現地調査第一
一次派遣は、五月二十六日から六月四日の期間で、ベリリニュー島、アングアル島に分散して調査した。ベリリニュー島は、オレンジビーチ、ワイルドキャットボウル、グッドアス島で遺骨の捜索にあたった。アングアル島は、昨年度に引き続き、昨年年度に引き続き、専門員の見守り下で、ソロンモ日本人墓地の試掘作業に従事した。東部ニューギニア調査第一派遣は、六月一日から十四日の期間で、パラオを調査した。派遣団はヘリコプター

た派遣団は、二十三日無事帰国した。翌二十四日、厚生労働省接談会議室で拝礼式が執り行われ、派遣団員、厚生労働省職員、関係団体代表が参列し、日本遺族会を代表して畔上和男専務理事が献花した。

マリアナ諸島へ急派遣 236柱を奉持して帰国

日本戦没者遺骨収集推進協会は、マリアナ諸島戦没者遺骨収集急派遣を、五月十三日から二十四日の期間で、サイパン島で実施し、本会からはサイパン島の戦没者遺族二人が参加協力した。派遣団は、平成二十九年及び三十年の現地調査で、サイパン島、テニアン島で収容し、北マリアナ諸島歴史保存局に保管していた遺骨を確認するとともに、焼骨のたしを除去する洗骨作業に従事した。二十日には、バナデル飛行場跡地で焼骨式並び



追悼式で追悼文を読みあげる団員=5月20日、サイパン島で

六月十八、十九日の両日、福岡県柳井温泉「華の湯」で、道原の遺族会役員ら四十四人が参集して第一ブロック会議が開催された。本会から水落敬栄会長、宇田川雄副会長、畔上和男専務理事が出席した。会議では、特別弔慰金の今後の見直しや、本会が検討している「今後の遺族会を考慮する特別委員会」での検討状況について問われ、四十七都道府県遺族会に実施したアンケート調査に基づき、財政、組織、処遇など優先順位をつけて検討している。さらには、今後、開催されるブロック会議の

第一ブロック会議開催

特別委員会の答申にむけ議論意見を踏まえて、来年度五月の答申にむけて議論を加速する事が報告された。本会では、六月十日以降、開催した各種会議は次の通り。

- ▼第10回評議員会 6月10日 詳細は、面に記事として掲載。
- ▼第18回理事会 6月10日 詳細は、一面に記事として掲載。
- ▼事務局局長会 6月11日 ①支部事務局の交代 ②第17回理事会、第10回評議員会、第18回理事会の決定事項 ③事務局長・事務局職員研修会の開催について。

お知らせ)戦没者遺骨のDNA鑑定の実施について
○厚生労働省では、戦没者遺骨のDNA鑑定について、これまでの遺骨品等からご遺族を推定できる場合に、希望されるご遺族について、DNA鑑定を実施し判明した場合、ご遺骨を返還しております。
○戦後70年以上を経過し、ご遺族が高齢化している事を踏まえ、平成29年度より、沖縄県の10地域で収容されたご遺骨についてご遺族からの申請を募り、厚生労働省保管資料や申請された死亡場所等の情報に基づき、ある程度戦没者遺族とのつながりが確認できる場合に、DNA鑑定を実施しております。
※10地域の名称 真栄比(那覇市)、幸地(西原町)、大里宇高平(南城市)、経塚(浦添市)、前田(浦添市)、伊原(糸満市)、米須(糸満市)、喜屋武(糸満市)、真壁(糸満市)、具志頭須武(糸満市) 八重瀬町)
○詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。
[掲載先 戦没者遺骨のDNA鑑定について]
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000172647.html
○お問い合わせ先
厚生労働省社会・援護局事業課調査第一係
代表電話 03-5253-1111(内線3482)
直通電話 03-3595-2219

